

日本臨床作業療法研究 投稿・執筆規定

The Japanese Journal of Clinical Occupational Therapy

1. 本誌の目的

本誌は、日本臨床作業療法学会の学術誌として、臨床作業療法の関連領域における研究報告の場を提供することを目的とする。

2. 本誌の特徴

本誌は、研究結果をより多くの人に、より早く提供するために、フリーアクセスの電子ジャーナルとする。印刷物（別刷りを含む）は発行されず、論文校正が終了した時点で所定の WEB サイトにアップデートされる。

3. 投稿資格

本筆頭著者は原則として本会の会員であって、応募年度までの会費納入を済ませた者に限る。但し、編集委員会の決定により会員外の著者に投稿を依頼することができる。

なお、養成校の学生については共著者に本会の会員がおり、その会員から指導を受けた場合に投稿ができる。学生の投稿論文は常に募集するが、毎年 12 月末日を投稿締め切りとして、編集委員会で全論文の内容を確認し、毎年度 2 本を目安に掲載に十分な内容があると認められられた論文の査読を行う。

4. 投稿記事の種別

投稿記事の種別は、「原著」、「短報」、「実践報告」、「総説」、「その他」で他誌に未発表のものとする。

- (1) 原著：実験、調査、臨床経験、理論研究などから得られた独創的で新規性のある知見を含む結果の考察および記述のある論文。
- (2) 実践報告：特色ある作業療法実践（事例報告を含む）に焦点を当てた治療手段としての活動、装具、自助具、遊具など

のアイデアの紹介を目的とする論文。

- (3) **文献研究**：作業療法実践に関連する既存の研究を，エビデンスレベルに応じて整理・統合するシステマティックレビューやメタアナリシス，総説的なナラティブレビューも含まれる。
- (4) **短報**：独創性のある所見，見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告を目的とする論文。
- (5) **その他**：学術論文ではないが，学術活動の紹介，学会参加報告，研究の資料など，本学会の学術活動に寄与する記事。

5. 原稿の採否

原稿は2名の査読者によって査読し，原稿の採否は編集委員会で決定する。査読後に加筆，修正をお願いすることがある。また編集委員会の責任において，多少の字句の訂正をすることがある。

6. 原稿執筆要領

- ① 著者は，著作権や研究対象者の人権の尊重に努める。
- ② 原稿の形式は表題，著者名，所属，要旨（400字以内），key words（3つ），本文，文献，図表によって構成する。
- ③ 原稿枚数：
 - 原著：10000字（400字詰め原稿用紙25枚）以内
 - 短報：4000字以内
 - 実践報告：原著に準じる
 - 総説：原著に準じる
 - その他：原著に準じる尚，図表は1個を400字（400字詰め原稿用紙1枚）として換算すること。
- ④ 投稿原稿は，冒頭に種別を明記する。
- ⑤ 投稿原稿は，全て横書きとして，ワードプロセッサにてA4の用紙に，20字×20行で見やすく配列する。また，原稿には**頁番号**，**行番号**をつける。
- ⑥ 本文は，原則として，はじめに（緒言），方法，結果，考察，文献

等の小見出しをつける（特に「原著」、「短報」の場合）。

- ⑦ 文章表現は、現代かなづかいとし、数字は算用数字、数量は国際単位系(SI単位)記号を用いる(例;m,cm,mm,ml,kg,cm²など)。
- ⑧ 外国語名(地名,人名,その他)は、原則として原語を用い、略語はカッコ内にフルスペルで記載する。
- ⑨ 文献リストは引用文献のみとし、引用順に配列する。著者名は、5名までを記載し、6名以上は“他”とすることを原則とし、表記の形式は以下の例を参照。
 - 1) 澤田辰徳, 建木健, 藤田さより, 小川真寛: 一般市民における「作業療法」, 「リハビリテーション」についての認知度調査. 作業療法 30(2):167-178, 2011
 - 2) Tomori K, Uezu S, Kinjo S, Ogahara K, Nagatani R et al. : Utilization of the iPad application: Aid for Decision-making in Occupation Choice (ADOC). Occup Ther Int. 19(2): 88-97, 2012.
 - 3) 千野直一: 臨床筋電図・電気診断学入門. 医学書院, 1997, pp.102-104.
 - 4) Reid J: Computer and occupational therapy. In Creek J(ed), Occupational Therapy and Mental Health. Churchill Livingstone, 1990, pp.267-288.
 - 5) Chung JCC: Using problem-based learning (PBL) with Hong Kong occupational therapy students: Opportunities and challenges. Asian J Occup Ther 2 (1): 10-22, 2003. https://www.jstage.jst.go.jp/article/asiajot/2/1/2_1_10/_article (accessed 2018-12-21).
 - 6) 日本作業療法士協会: 学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針. http://www.jaot.or.jp/publication/gakujutsushi_rinri.html (参照 2012-04-27)
- ⑩ 図・表については以下の点に留意すること。
 - 1) 図・表はすべて表題をつけ、図には説明もつける。
 - 2) 必要がない場合は表に縦線を使用しない。

- 3) 図・表それぞれを本文とは別に 1 点ごとの PDF ファイルとする
 - 4) 本文中および欄外に図・表の挿入場所を明示する.
 - 5) 図は鮮明でそのまま製版できるものを準備する.
 - 6) 引用・転載の図・表は, それぞれの出典を明記する.
- ⑪ 動画を挿入したい場合には, 容量を 20MB 以内とし, ASF, ASX, AVI, 3GPP, MOV, MP4, MPEG, MPG, QT, WMV 形式のいずれかで保存する. または YouTube へのリンクを記載すること.
 - ⑫ 受理原稿の印刷校正は, 投稿者の責任で初稿のみとし, 校正には PDF ファイルの注釈機能を用いる.
 - ⑬ 本誌に採用された論文の著作権は, 日本臨床作業療法学会に属する.

7. 掲載料

掲載料は仕上がりで 4 頁までは一律 7,000 円, 5 頁以降は 1 頁毎に 2,000 円とする.

8. 投稿方法

原稿はすべて PDF 形式に変換し, 下記編集委員会まで E-mail (個人用アドレス) に添付して送付してください.

- ① **投稿用ファイル**: 著者名, 共同著者名, 所属名, タイトル, 要旨, keywords, 本文, 図表をすべてまとめて 1 つのファイルに集約して投稿する.
- ② **査読用ファイル**: 査読者に通知を行うため, ①投稿用ファイルから著者名や所属名, 倫理審査の承認施設名などを削除して匿名化した状態で投稿する.
- ③ **修正対応表**: 必ず下記のリンクより【修正対応表見本】を参考に作成する. なお, 査読作業の円滑化を図るために, 査読者からのすべてのコメントに著者の回答を記し, 本文中の修正箇所を明記することとする (例: 10 頁 2~4 行). さらに, 本文ファイルも同様に, 修正箇所が査読者に伝わるようにフォントを

赤字にする，塗りつぶしで強調するなどの編集を行う．

[修正対応表見本](#)

https://docs.google.com/document/d/1Bm8tTbhRZ_RYIwzDTEGYGx22WFWft5Fe7z7CCldYGIQ/edit

[Microsoft Office から PDF の作成方法（参照 URL: Adobe）](#)

<https://helpx.adobe.com/jp/acrobat/how-to/create-pdf-files-word-excel-website.html?set=acrobat--fundamentals--create-pdf>

ご不明な点については下記編集委員会までご相談ください．

「日本臨床作業療法研究」編集委員会

委員長 友利 幸之介 宛

E-mail: jscotjournal あ gmail.com

* 「あ」を「@」に変換してください

9. 査読者一覧（敬称略）

飯塚照史

池田晋平

石橋 裕

泉 良太

上江洲聖

大浦智子

大野勘太

小河原格也

小川真寛

小野健一

加藤貴志

河原克俊

古桧山建吾

齋藤佑樹
鈴木達也
清家庸佑
高畑脩平
田中寛之
竹林崇
建木健
寺岡睦
中村裕美
野口卓也
畑中康志
藤田貴昭
藤本一博
丸山祥
三崎一彦
南征吾
山根伸吾
吉岡和哉

10. 編集委員一覧

京極真
澤田辰徳
友利幸之介
長山洋史
藪脇健司

改定日：2019年5月6日